

## 新旧理事長挨拶

# 水町理事長から大槻理事長へ

### 退任あいさつ 水町 亮治 (生環18期)

シルバーカレッジ3年生時の11月に2人の先輩より、グループわ で一緒に作業しないかと連絡を頂いたのが、グループわ との出会いでした。活動の内容をお聞きすると、建学の精神「再び学んで他のために」の理念を実践するために設立された組織だと言って、いろんな活動内容の説明が有りました。



就任してすぐ、ぎやらりーわ 掲載のため「新理事の抱負」を書くように言われました。「〈わ〉の活動について殆ど無関心でしたが、1,300人を超す卒業生が入会されており、区会・部会など様々なボランティアに参加して、活躍されていることに驚いています。無芸・無知ですが、会員の皆さんが明るく・楽しく活動出来る様に、裏方として少しでもお手伝い出来れば幸いです」このように書いたことを忘れずに5年間作業して参りました。

思い出としては、設立20周年記念事業で多くの会員の皆様にご支援頂き、目標を大きく上回る参加者で行うことが出来ました。会員各位のグループわ に対する意識の高さを痛感致しました。

又、水の科学博物館の委託事業が加わった事と、20周年記念を実施したお陰で多方面より話を頂き、フレイルサポート事業・兵庫医療大学との薬草による地域創生事業・新舞支援事業など新しい事業に取り組んできました。会員各位のご支援・お指導に感謝申し上げます。

### 新任あいさつ 大槻 隆文 (食文20期)

私たちは、1995年阪神淡路大震災を経験して、神戸市シルバーカレッジからボランティア団体として、グループわ を誕生させました。そして2004年にNPO法人としました。その後、福祉活動、社会教育の推進、健全なまちづくり、スポーツによる健康づくり、環境保全及び啓発活動、国際協力、生活文化の伝承等の事業を行ってまいりました。また、大震災を体験したもものとして、東日本大震災、熊本地震、西日本集中豪雨等の被災地支援と、諸先輩の活動が行われてきました。



本年は、グループわ 設立22周年を迎えています。高齢者や障害者の福祉の増進と子どもたちの健全な育成を図っていく活動を引き続き行っていきたい。会員数も1,400人を超え、組織の基本である9区会、5部会58グループ、本部の協力・協調関係を図っていきたくと思っています。また、設立の基礎である神戸市シルバーカレッジ、こうべ市民福祉振興協会、神戸市、神戸市社会福祉協議会等と連携した活動を引続き展開してまいります。内部的には、会計基準を、今までの企業会計基準から法に則ったNPO法人会計基準に変えるとともに、ホームページ、ぎやらりーわ 等の充実を図り、会員はもちろん市民の皆様の信頼性を高めていきたいと考えております。

会員の皆様、手を携えて一緒に進めてまいりましょう。よろしくお願い申し上げます。

## 新理事(常勤)の一言



高木 池内 道満

〈わ〉といえば、「ボランティア」 事業担当 池内真知子  
健福23期

という言葉だけの知識でしたが、総会の準備や行事のお手伝いをおして、多彩なボランティア活動や会員相互の親睦の場があることを知りました。1400人を超える組織は、維持するだけでも大変なことです。しかし、その方々の地域に貢献する力はさらに大きいと思いました。事業担当の一員として、会員の皆様の力が十分に発揮できるように、お手伝いをさせていただきたいと思っています。

「卒業したらどうするの?特に予定がないなら 総務担当 高木博史  
園芸23期

“わ”に来ない?忙しいけど楽しいよ。」という素敵な言葉に誘われて本部の活動に参画することになりました。担当業務の総務は年中忙しいと聞きました。4月から業務説明を受けながら総会準備の手伝いを行ってきましたが確かに業務は忙しく、課題もたくさんありそうです。でも、やりがいも感じます。これからの活動を楽しく、笑って行いながら少しでも会員の皆様のお役に立てるように頑張ります。

〈わ〉よりお声かけいただき 広報担当 道満出人  
国際23期

「何か出来ることがあれば」という軽い気持ちで、本部へ入らせていただきました。しかし、わいわいストリート、総会他の活動に参加し、多くの会員方々の活発な活動を目の当たりにし、その責務の重大さに身のひきしまる思いがいたしました。「ボランティアの輪を広げよう」という合言葉のもと、より楽しく活発な活躍ができるよう、微力ですが鋭意努力いたしますので、よろしくお願い致します。